

# 公共(公益)機能について



# 1. 上位・関連計画のまとめ

- 上位計画、関連計画のなかで、特に将来の社会像、市民サービスに関する内容は以下の通り。
- **子ども、若年層、生産年齢世代への公共サービスの充実が目指されている。**
- **図書館は、集客性の高さ、まちづくりの拠点としての位置づけがなされている。**

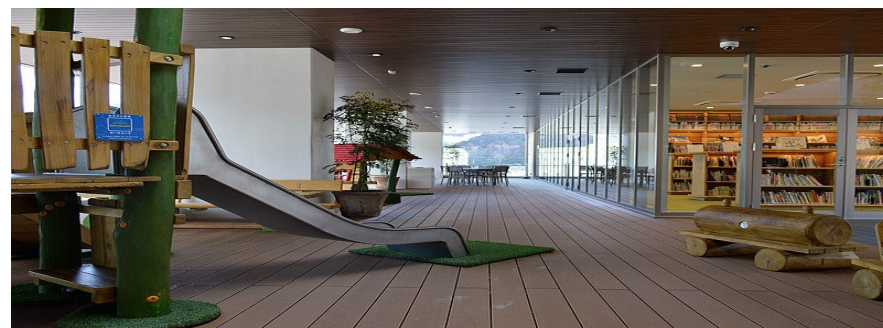
計画の名称		市の将来像に関するキーワード
第6次敦賀市総合計画後期基本計画「敦賀市再興プラン」	概要	<ul style="list-style-type: none"><li>• 若年世代の流出抑制、子育て支援の充実</li><li>• 公共教育への進学可能性確保、地元就職の促進健康づくりの推進</li><li>• 市立敦賀看護大学等との連携</li><li>• 生産年齢世代への行政サービス・支援の重点化</li><li>• 広域のかつ一体的な経済圏・生活圏の設定</li></ul>
	第5章 心豊かな人を育むまちづくり	<ul style="list-style-type: none"><li>• 地域づくり活動拠点としての公民館</li><li>• まちづくりの拠点としての図書館、集客性を活かしたまちづくり拠点の形成</li></ul>
敦賀市人口減少対策計画 —敦賀市地方版総合戦略—		<ul style="list-style-type: none"><li>• 将来世代が豊かに暮らすことができる都市の実現～現役世代から将来世代への贈り物～</li><li>• 子育て支援として保育園や支援拠点施設の運営といったソフト面の充実化を図る</li><li>• 人材の育成の充実による若年世代の流出抑止</li></ul>

## 2. 先進地事例視察

<事例1> **高梁市立図書館**【岡山県高梁市 人口：31,274人】

<概要> JR備中高梁駅隣接の複合施設内に図書館を整備。レンタル大手「TSUTAYA」を運営するカルチャア・コンビニエンス・クラブ（CCC）が指定管理者となり、カフェや書店も併設

<ポイント> ◎地方都市における図書館の集客力 📍 年間目標20万人を開館から**約3か月**で達成



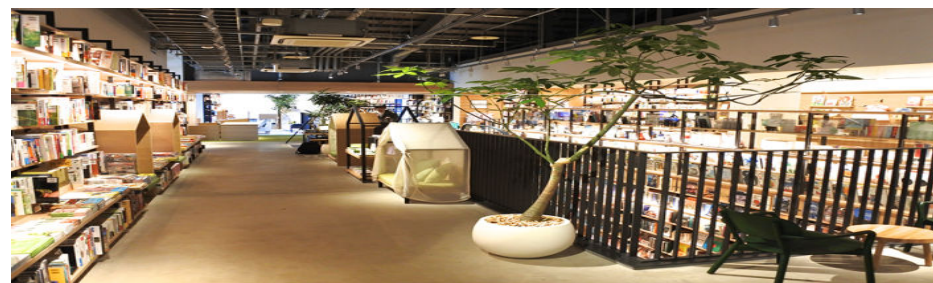
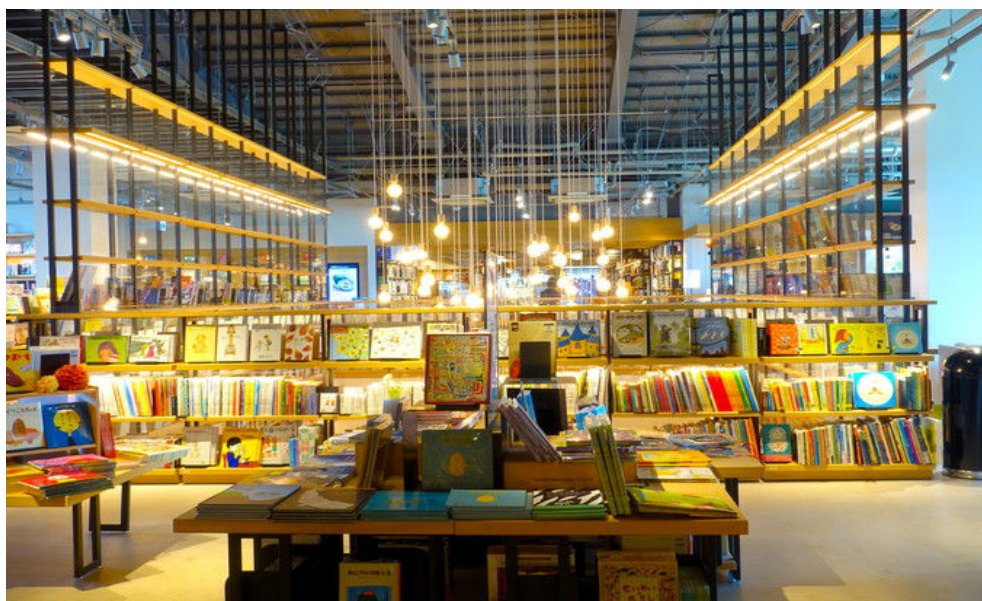


## 2. 先進地事例視察

<事例2> **柏の葉T-SITE**【千葉県柏市 人口：421,792人】

<概要> 本を通してライフスタイルを提案する蔦谷書店を中心に、日常を豊かにするモノ・コトを集めた複合商業施設「T-SITE」。コンセプトは「子どものいる暮らし」。館全体が子連れでくつろげるつくりになっていて、食事や買い物はもちろん、子どもと楽しめるイベントも多数開催されている。

<ポイント> ◎空間プロデュース



## 2. 先進地事例視察

<事例3> **あかし市民図書館**【兵庫県明石市 人口：301,273人】

<概要> 「本のまち」明石のシンボル施設として整備。JR明石駅前に誕生した再開発ビルの4階に「あかし市民図書館」、2階にジュンク堂書店が同居。図書館の運営を行うのは、指定管理者として選定されている(株)図書館流通センター。

<ポイント> ◎平日の集客性の確保



4F あかし市民図書館





### 3. 公共機能導入に当たっての視座

#### ① **集客系施設**としての公共機能

(既存公共施設の移転・再編という発想ではない)

#### ② **ニュース (話題) 性の確保** : 次世代への投資、 新たな魅力や価値の創造



#### ③ **目的と対象の明確化** (財政的な観点からも重要)

## 4. 公共機能の基本的な方向性

- 上位計画、関連計画に示されている将来像、先進事例視察、民間事業者へのヒアリングを踏まえ、敦賀市の将来を担う本地区において、こどもや若者など次世代の育成と、その世代を育てる生産年齢層向けのサービスが必要ではないか。
- それにより、「にぎわい」を創出するとともに、「学び」や「発見」を促すことで、将来の敦賀を担う人材を育てる／引き寄せることを目指す。

### 【公共機能の基本的な方向性】

- **こども・若者・駅を行き交うビジネスマン**等が、気軽に訪れ、**書籍やその他メディア**、また、ワークショップや様々な体験・イベントを通して、新たな学びや楽しみ・喜びを発見し、『敦賀で暮らすことが楽しい』と思える場
- キーワードとして、「**情報、知的刺激、融合、自己啓発、学び、活動、余暇、日常、憩い、寛ぎ**」等。

## 5. 導入する公共（公益）機能

# 知育・啓発機能

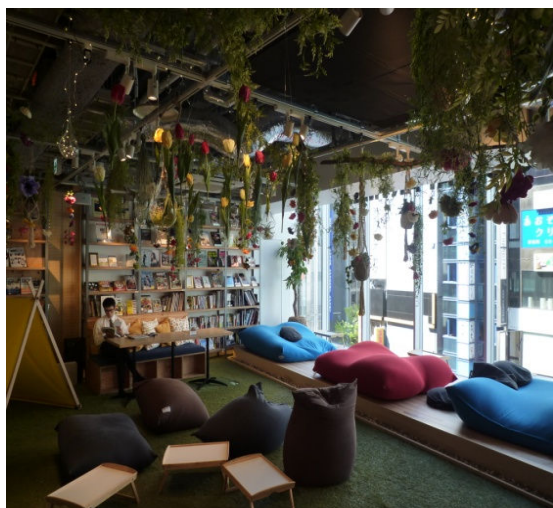




## 5. 導入する公共（公益）機能

<例 1> 若者の創業・企業を支援する

# コワーキングエリア



## 5. 導入する公共（公益）機能

<例 2> 幼児、児童の知的好奇心に応え、親子で利用できる

# 子ども情報エリア

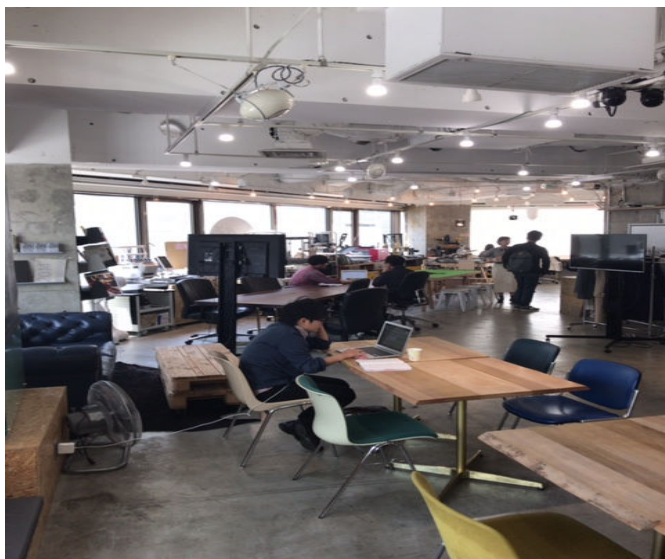




## 5. 導入する公共（公益）機能

<例3> 多様な世代向けの工作教室や講座等を通じて、ものづくりへの理解と情報発信を図る

# ものづくり創造エリア



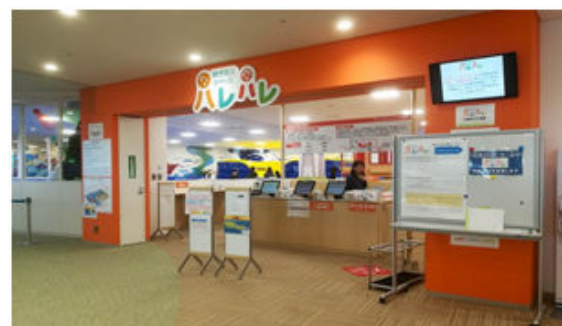
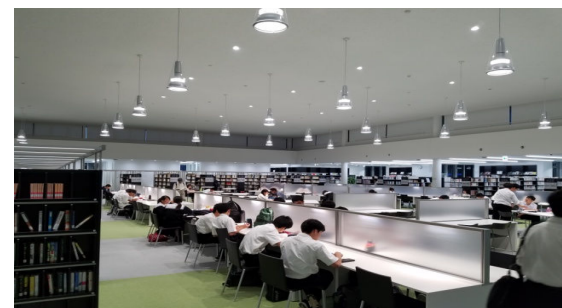


## 5. 導入する公共（公益）機能

- ① 子育て世代が利用できる「**一時預かりスペース**」
- ② 生徒、学生が気軽に訪れ、自習やサークル活動等に利用できる「**学び・活動スペース**」
- ③ 子育て世代が交流し、情報交換できる「**子育て広場スペース**」



6F あかし総合窓口	9:00~20:00
※土・日・祝日は17:15まで	
6F こども健康センター	9:00~17:15
5F あかし子育て支援センター (プレイルーム・こども図書室)	9:00~17:00
5F 親子交流スペース	9:00~17:00
5F 中高生世代交流施設	9:00~21:00
5F 一時保育ルーム	9:00~17:00
5F 明石たこ大使の さかなクンのギョギョルーム	9:00~17:00
4F あかし市民図書館	10:00~21:00
※土・日・祝日は19:00まで	
2F あかし市民広場	9:00~20:00



## 6. 今後の予定 (イメージ図)

